



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東
 コード番号 5704 URL <https://www.imc-rp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 大知
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 篠崎 史郎 TEL 045-477-5751
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	538	△5.7	△4	—	41	—	27	—
2020年12月期第1四半期	571	△37.2	△30	—	△5	—	△6	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	5.17	4.93
2020年12月期第1四半期	△1.31	—

(注) 2020年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	3,735	2,113	56.6	399.39
2020年12月期	3,784	2,085	55.1	394.22

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 2,113百万円 2020年12月期 2,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,584	4.8	26	—	56	—	37	—	7.00

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	5,291,400株	2020年12月期	5,291,400株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	300株	2020年12月期	300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	5,291,100株	2020年12月期 1 Q	5,281,807株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にありましたが、各種経済政策の効果や一部経済指標の改善などによる持ち直しの動きも出てまいりました。

当社を取り巻く試作・開発市場は、一部の顧客で需要回復も見え始めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための移動制限の継続に加え、半導体製造工場の火災等に起因する半導体生産量の減少が、市場の回復に少なからず影響を与えることが見込まれるなど、不透明な状況が継続いたしました。

このような環境の中、当社の鑄造事業ではミーリングセンター(静岡県浜松市浜北区)で、前事業年度から鑄造品の機械加工内製化に注力し、加工レパトリの拡張を進めたことで、素材から加工までの試作案件の獲得に向けた新たな取り組みが結実しつつありました。

また、C T事業では産業用C Tを用いた品質保証・検証に加え、学術・芸術など教育分野をはじめ、様々な業種へのサービス提供を実現してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高538,513千円(前年同四半期比5.7%減)、営業損失4,273千円(前年同四半期は営業損失30,544千円)、経常利益41,329千円(前年同四半期は経常損失5,857千円)、四半期純利益27,344千円(前年同四半期は四半期純損失6,902千円)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 3Dプリンター出力事業

3Dプリンター出力事業におきましては、「短納期」・「高品質」の強みを活かした営業活動および製造活動を継続しており、一部顧客では活発な動きも見られたものの、全般で試作・開発市場での案件の減少や、屋内外での催事減少による受注減少、受注価格レンジの低下が継続し、試作品の3Dプリンター出力の受託は厳しい状況が継続いたしました。

一方、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」は前事業年度から引き続き米国を中心としたデバイスメーカーからの旺盛な需要により、売上高は順調に増加いたしました。また、医療モデル製作受託の売上高も前年同四半期比で増加したことから、当該事業のセグメント利益の大幅減少を緩和する要因となりました。

この結果、3Dプリンター出力事業の売上高は125,100千円(前年同四半期比6.1%減)、セグメント利益は9,533千円(前年同四半期比46.9%減)となりました。

② 鑄造事業

鑄造事業におきましては、前年同四半期比で市況にやや明るさが戻り、一部の顧客から大型の試作受注の獲得が実現したものの、依然として本格的な需要回復には至っておらず、不透明な状況が継続いたしました。

一方、前事業年度に本格稼働を開始したミーリングセンターでは、内製化率を高水準で維持するとともに、従来は受注を見送ってきた高難度の加工の準備に着手しており、新たな鑄物製作ニーズの獲得に努めました。

また、F A分野における量産部品は、製造現場をはじめとした工場ライン自動化へのニーズが強いことを背景に、当第1四半期累計期間も順調な受注状況が継続いたしました。

この結果、鑄造事業の売上高は312,445千円(前年同四半期比20.7%増)、セグメント利益は29,493千円(前年同四半期はセグメント損失35,178千円)となりました。

③CT事業

CT事業におきましては、産業用CTのすべてのX線出力領域（ミリ／マイクロ／ナノ／高エネルギーX線）を撮像対象物に応じて使い分け、最適かつ高精度な検査・測定サービスの提供を行っております。

自社開催のWEBセミナー開催に加え、メールマガジンの発行、CT生物図鑑（注）への撮像データ掲載など、デジタルコンテンツの充実によって産業用CTの認知度向上に努め、また、日本政府の緊急事態宣言解除後は、面会による商談を解禁する企業が増加したことで、製品開発初期フェーズでの内部構造分析ニーズなどの獲得も進みましたが、当第1四半期累計期間では、CT装置用ソフトウェア等の売上が少なかったことに加え、主要な売上を占める品質保証、検査目的での撮像サービスが特定顧客のプロジェクト案件が終了に向けて縮小したことから減少し、撮像サービス全体の売上高も減少いたしました。

この結果、CT事業の売上高は120,739千円（前年同四半期比41.9%減）、セグメント利益は67,246千円（前年同四半期比43.3%減）となりました。

なお、当第1四半期累計期間では、産業用CTの装置販売はありませんでした。

（注）CT生物図鑑

産業用CTの可能性をより多くの方に感じていただくべく、様々な生物を産業用CTでデータ化し、WEBサイト上で360度動かすことができるほか、内部構造を捉えた断面画像等を公開している当社のオリジナルWEBサイトです（<https://www.ctseibutsu.jp>）。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,042,086千円となり、前事業年度末に比べ78,998千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が97,036千円増加したものの、電子記録債権が141,565千円、受取手形及び売掛金が30,853千円減少したことによるものであります。

固定資産は2,693,398千円となり、前事業年度末に比べ30,420千円増加いたしました。これは主にリース資産が21,260千円、建物が17,861千円、機械及び装置が11,439千円減少したものの、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が94,746千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,735,485千円となり、前事業年度末に比べ48,578千円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は802,720千円となり、前事業年度末に比べ17,396千円減少いたしました。これは主に買掛金が19,794千円、賞与引当金が15,060千円増加したものの、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が57,066千円減少したことによるものであります。

固定負債は819,558千円となり、前事業年度末に比べ58,526千円減少いたしました。これは主に長期借入金が34,135千円、リース債務が21,597千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,622,278千円となり、前事業年度末に比べ75,923千円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,113,206千円となり、前事業年度末に比べ27,344千円増加いたしました。これは四半期純利益を27,344千円計上したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続する中で、概ね当社の想定通りに推移いたしました。

通期の業績予想につきましては、2021年2月12日に公表の「2020年12月期 決算短信」における2021年12月期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	222,072	319,109
受取手形及び売掛金	445,015	414,161
電子記録債権	193,437	51,871
仕掛品	93,513	101,808
原材料及び貯蔵品	54,326	55,812
前払費用	33,221	28,557
その他	79,921	71,073
貸倒引当金	△421	△307
流動資産合計	1,121,085	1,042,086
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,375,242	1,357,380
機械及び装置(純額)	115,946	104,507
土地	320,737	320,737
リース資産(純額)	473,903	452,642
その他(純額)	226,800	319,006
有形固定資産合計	2,512,631	2,554,274
無形固定資産	55,330	52,513
投資その他の資産	95,016	86,609
固定資産合計	2,662,978	2,693,398
資産合計	3,784,063	3,735,485
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,956	69,750
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	136,540	136,540
リース債務	116,489	115,040
未払金	137,157	132,199
未払法人税等	1,911	3,721
賞与引当金	—	15,060
製品保証引当金	98	4,696
その他	77,963	25,711
流動負債合計	820,116	802,720
固定負債		
長期借入金	367,257	333,122
リース債務	409,641	388,043
資産除去債務	88,313	87,306
その他	12,874	11,086
固定負債合計	878,085	819,558
負債合計	1,698,202	1,622,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,671	782,671
資本剰余金	769,671	769,671
利益剰余金	533,922	561,266
自己株式	△403	△403
株主資本合計	2,085,861	2,113,206
純資産合計	2,085,861	2,113,206
負債純資産合計	3,784,063	3,735,485

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	571,073	538,513
売上原価	384,918	339,154
売上総利益	186,154	199,359
販売費及び一般管理費	216,698	203,632
営業損失(△)	△30,544	△4,273
営業外収益		
受取利息	2	1
補助金収入	26,900	49,740
受取保険金	451	2,763
為替差益	—	617
その他	866	2,129
営業外収益合計	28,220	55,252
営業外費用		
支払利息	3,145	3,581
為替差損	361	—
支払補償費	—	5,500
その他	26	567
営業外費用合計	3,533	9,649
経常利益又は経常損失(△)	△5,857	41,329
特別利益		
固定資産売却益	—	6,584
特別利益合計	—	6,584
特別損失		
固定資産除却損	1,435	175
固定資産売却損	—	776
特別損失合計	1,435	951
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△7,293	46,962
法人税、住民税及び事業税	2,884	10,462
法人税等調整額	△3,275	9,154
法人税等合計	△390	19,617
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,902	27,344

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 出力事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	133,199	230,002	207,871	571,073	—	571,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	28,922	—	28,922	△28,922	—
計	133,199	258,924	207,871	599,995	△28,922	571,073
セグメント利益又は損失 (△)	17,962	△35,178	118,580	101,364	△131,908	△30,544

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△131,908千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 出力事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	125,100	292,673	120,739	538,513	—	538,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,772	—	19,772	△19,772	—
計	125,100	312,445	120,739	558,286	△19,772	538,513
セグメント利益	9,533	29,493	67,246	106,273	△110,546	△4,273

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,546千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。